# 「舟橋様御文庫書籍目録」の紹介ならびに翻げ

### 佐竹 朋子

## **ガ橋家について**

録」(A00‐6386)である。 ここに紹介するのは、東京大学総合図書館が所蔵する「舟橋様御文庫書籍目

宿禰を改め清原真人を賜ったという。一○○九)を家祖とする一流であり、寛弘元年(一○○四)一二月、広澄は海舟橋家は、清原氏の流れを組む堂上公家である。清原氏は、広澄(九三四~

を寄せて『貞永式目抄』を著すなど、清原家家学を大成させた。 た寄せて『貞永式目抄』を著すなど、清原家家学を大成させた。 清原家は、儒教の経典を研究し指導する明経道博士家の一つであり、局務 清原家は、儒教の経典を研究し指導する明経道博士家の一つであり、局務 清原家は、儒教の経典を研究し指導する明経道博士家の一つであり、局務

をつとめた。秀賢の息子賢忠は伏原家を創設し、儒学を家業とした。などを上梓するとともに、徳川家康が銅活字を朝廷に献納した際の世話役など日件録』の書き手として知られる。また、活字版印刷に通じており、『古文孝経』を舟橋に改称した。秀賢は、後陽成天皇・後水尾天皇の侍読をつとめ、『慶長秀賢(一五七五~一六一四)が当主であった慶長六年(一六〇一)に、家名

た。家禄は四百石、明経道を家業とし、近衛家の家礼であった(『舟橋家譜』〈東経博士となり、少納言・式部少輔に任じられるのを例とし、正二位を先途とし、江戸時代、舟橋家は清原氏の嫡流であり、家格は半家で、歴代おおむね明

脩』二○‐二、一九八四年〉・「清原氏」〈『公家事典』吉川弘文館、二○一○年〉)。京大学史料編纂所所蔵〉・廣庭基介「附属図書館所蔵 清家文庫について」〈『静

## 舟橋様御文庫書籍目録」について

本目録は、所蔵者を酒井宇吉氏(一誠堂)とし、昭和三一年(一九五六) 本目録は、所蔵者を酒井宇吉氏(一誠堂)とし、昭和三一年(一九五六 7559-81c1-0075ac0225f4)。

裏表紙には「享保十一年(一七二六)午七月十六日」とある。一二・二㎝×横三五・二㎝である。表紙には「舟橋様御文庫書籍目録」と記され、本目録の形状は袋綴橫帳で、丁数は四四丁(含白紙)あり、法量は縦

て | Reference |

笥もしくは箱ごとに範囲を示す記号が朱で記され、末尾には収蔵点数が記されられ、書名の右上には、書本・板本・唐本などの別が記されている。また、箪もある。それらは、次に記す通り、収蔵された箪笥もしくは箱ごとに書き上げ料は大きな割合を占めないが、故実・次第・補任・口宣案・宸翰・肖像画など本目録を見ていくと、漢籍・神祇書・歌書が中心で、記録・文書の歴史資本目録を見ていくと、漢籍・神祇書・歌書が中心で、記録・文書の歴史資

郎前掲「史学会第五十七回大会報告 展示目録」参照)。ている。目録の上部には、書名や箪笥名の付箋が多数貼られている(太田晶二)

物類、 壱箱 箪笥/ぬノ箪笥/哥書入壱箪笥/壱箪笥/みノ箪笥/な一箪笥/一飼笥 めノ箪笥/群書箪笥/四書ノ箪笥) 白虎 セノ箪笥 / 壱箪笥/ 、四ノ箪笥/五ノ箪笥/さノ箪笥/ゑノ箪笥/ーノ箪笥/すノ箪笥 、一箪笥/□箪笥/よノ箪笥/あノ箪笥/とノ箪笥/むノ箪笥/ちノ ブ箱 /諸次第ノ箱入壱箱/壱箱(「箱ニ通鑑綱目トアリ」) /いノ箪笥/一箪笥/ **/御文匣/壱箱/甲ノ箪笥/大箱/御唐櫃入日記/壱箱/** / 壱箪笥/りノ箪笥/二ノ箪笥/ゆノ箪笥/京ノ箪笥/雑記入 んはノ箪笥/にノ箪笥/ろノ箪笥/ヘノ箪笥/ほノ箪笥) /前ノ箪笥 /雑書箪笥 / 壱箪笥 / 壱箪笥 / /雑書箪笥/御手マハリ箪 / 壱箪笥 / 壱箪笥/巻 / 壱箪笥 /青龍

められている。 箪笥や箱ごとに書き上げられた書籍は、漢籍・神祇書・歌書などが入り交じっ 箪笥や箱でとに書き上げられた書籍は、漢籍・神祇書・歌書などが入り交じっ のあり、書本・板本・唐本の別にも分けられておらず、今となってはどのよう な意図のもと収蔵したのか明らかにすることはできない。ただし、「清龍白虎」 な意図のもと収蔵したのか明らかにすることはできない。ただし、「清龍白虎」 な意図のもと収蔵したのか明らかにすることはできない。かにし、「清龍白虎」

本目録からも、舟橋家では宣賢が重視されていたことが明らかとなる。 さらに、宣賢の自筆本には、書名の右上に「宣賢卿御筆」と明記されており、

えられる舟橋家の蔵書が寄託されている。 文学研究資料館には、京都大学附属図書館へ寄贈や売却された以外のものと考蔵している(廣庭基介前掲「附属図書館所蔵 清家文庫について」)。また、国後さらに京都大学附属図書館が同家より二八九冊を購入し、清家文庫として所三九代当主舟橋清賢氏より京都大学附属図書館へ二三六五冊が寄贈され、その三九代当主舟橋溹の蔵書は、昭和二六年(一九五一)から同二八年にかけて、第

塾図書館・龍谷大学図書館などにも、舟橋家の旧蔵書が収蔵されている。その他、宮内庁書陵部・天理大学附属天理図書館・大東急記念文庫・慶應義

根幹をなしたと言えよう。本目録の書き手は不明なため、なお検討の余地はあたにも記した通り、舟橋家の家業は明経道であることから、蔵書は舟橋家の

次では、「舟橋様御文庫書籍目録」を翻刻していきたい。蔵書がどのように増やされていったのかを明らかにすることができるであろう。各機関に所蔵されている舟橋家旧蔵書と比較することで、享保期以降、舟橋家のるが、享保一一年当時の舟橋家の蔵書が明らかとなる本目録は貴重であり、現在、

# 邨

東	
東京大	
大学	
子	
子総合	
図	
書	
百館所蔵	
所	
蔵	
_	
船	
橋	
穝	
御	֡
Ţ.	
庙	
書	
音銍	
和日	
磊	

一、翻刻は通用字体を用いた。ただし、躰(体)・哥(歌)・縣(県)・疏(疏)・龍 等は残した。 (竜) 凡例

一、改行は原本の行取に従った。

一、原本の丁替わりおよび表裏を示すため、その箇所に 」を付し、その丁数と表(オ)

裏(ウ)を()内に注記した。

一、原本に破損等があり判読できない文字は、その字数が判明するものについては、そ

の数を□で示し、不明の場合は、[ ]で示した。

、抹消文字が判読できる場合は、文字の後に(〃)で示し、修正後の文字は《 》内

に記した。判読できない抹消文字は、■をもって示した。傍書は《》内に記した。

割り注は、〈 / 〉内に記した。

舟橋様御文庫書籍目録 (表紙)

r一、毛詩抄 不足 書本

一、周礼疏 不足 三冊 三冊

一、文選內十七•十八不足 拾弐冊

一、同 十三・十四

一、尚書抄 不足 一、左伝句解

拾弐冊

壱冊

四 冊

一、書 一書、本 一、宣明暦 不足 礼記註本 周易正儀 孝経述議 不足 百衲襖 不足 孫子直解 慶長六暦 白氏六帖 不足 周易啓蒙 ×右拾四色セノ 筆 う入 十五冊 壱冊 壱冊 五冊 壱冊 三冊 三冊

一、尚書抄 毛詩抄 拾壱冊 六冊

礼記抄 一不足 拾九冊

周易抄 九冊

一、左伝抄 二十不足 一、啓蒙通釈 壱 冊 弐拾二冊

命期秘伝 属辞比事 壱冊 壱冊

易学啓蒙通釈口義 春秋伝易筮占法 三冊 壱冊

崑竹論 壱冊

山 図

律呂図数

韻鏡序秘抄

壱冊 壱冊 壱冊

3

一、周易正義 一、中庸点付 一、礼記註疏 一、孟子 趙氏註 一、史記抄不足 一、毛詩 L一、周易口義 不足 一、漢書抄 不足 一、儀礼 一、大学三綱領細釈 一、春秋穀梁伝 一、毛詩 孟子註抄 喉吟鈔 左伝 口三冊書本 右九色ろノ箪笥入 右八色にノ箪笥入 右拾四色はノ箪笥入 六三弐壱七冊冊冊冊 三一八一 弐拾 冊 冊 冊 冊 老 老 四 老 三 五 弐 六 拾 冊 冊 冊 拾 冊 拾 冊 冊 三冊 拾弐冊

一、聯材抜粋抄 一、千文字 一、載籍名題 一、孝子伝 一、吟卿集一、中興詩 一、標題蒙求一、胡曽詩 一、五先生小簡 一、震旦日本筆談 荘子音義 書史会要 珠履玳瑁 勧学文 灯前夜話 爾雅注疏 右弐拾五色へノ箪笥入 **弐** 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 **弐** 壱冊 壱冊

-175- 4

類説節用

一、曆道元本 一、和南 一、占本 一、啓蒙 一、蒙求抄 一、尉繚子 一、曆算聞書 一、易学啓蒙抄 一、周易大命期経 一、多武峰怪異六甲占 一、占事略訣 図暦 司馬法 同抄 六十四卦軌数図 暦道至要抄 万物算 周易暦略訣 五行引合 子平三命 気候雑占 百戦奇法 同義解 同講義 同魏武注 壱冊 壱冊 壱冊 弐 冊 **弐** 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 弐 冊 三冊 壱冊 壱冊 **弐** 六冊 壱冊 」(4丁才) 」(4丁ウ)

一、子平大全 一、断易天機 一、長暦 一、宣明曆 一、五行精記 一、大上鎮宅霊符 一、年中行事秘点 一、神代巻秘抄宣賢卿御筆 一、卦之図 同 一、易納甲図 折本 一、反閇 一、幕記 、 祓本 小本 、招鬼祭文 、大公望律音秘術 、中臣祓 、大護摩法 、八雲大事 、宗源神道行事 七政星曆命理仙機流事 梅花心易 見行草 筮林易課源流 六甲占抄 命期軌数図 右四拾六色ほノ箪笥入 壱巻 三巻 弐 冊 壱巻 壱冊 三冊 壱冊 壱巻 壱冊 壱巻 三冊 壱枚 壱冊 拾冊 七冊 六冊 壱冊 壱冊 壱冊 」(5丁才) 」(5丁ウ)

5 -174-

一、地鎮次第

一、同 宗賢卿御筆 一、孝経秘抄 一、論語抄 一、孟子抄 一、大学聴塵 一、論語家訓 一、中庸家訓 \_\_、貞永式目抄 一、大学家訓 一、楊名介大事 一、摩利支天加持大事 一、三略 、同伝受式 、周易筮儀 、節会物召 、惟清抄 、御侍読次第 、同 秘註 、古語類要三十之卅一 、神代巻点本 、職原抄点本 、神明秘要 右弐拾五巻青龍白虎二入 壱 冊 三冊 弐冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 弐冊 壱冊 壱冊 弐 冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 拾四冊 壱冊 」(6丁才) 」(6丁ウ) 一、卜筮書 一、曆要抄 一、代始和抄 一、韻鏡聞書 一、長恨歌琵琶行 一、辛酉甲子秘説 一、縣召除目次第 、風土記 麒麟抄 老子経 論語抄 月中行事 職原抄 鬼谷断 式制口訣 円珠経 周易筮儀 日中行事 日法雑書 実学聴塵 **弐** 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 四 冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱 (〃) 《二》冊 壱冊 壱冊 壱冊 五冊 壱冊 壱冊

」(7丁才)

」 (7丁ウ)

r一、四書合解 一、通書大全 一、留青広集 一、杜詩全集 一、陸宣公全集 一、韓昌黎 一、易経直解 一、建武式目 一、曲礼抄 一、節会次第 一、杜工部律詩外二色々 一箪笥板小本 一、古注四書五経〈不足/毛詩十冊共〉 一、孟子抄不足 一、前定女命易数 一、神号秘抄 一、沙汰未練抄 一、神 本所へ帰ル 一、古文孝経 一、韻鏡秘抄 一、古本雑書 、韻鏡抄出 式目追加 大宗問答 陰陽八卦聞書 右五拾弐色いノ箪笥入 四 冊 **壱箪笥** 弐 冊 一箪笥 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 一箪笥入 六冊 全部 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 拾冊 六冊 拾六冊 全部 壱冊 」(8丁ウ) 」(8丁才)

「一、塩鉄論 一、文体明弁 一、仲景全書 ○一、東破集 全部廿七冊 一、古注論語 一、麒麟抄 一、春秋大全 一、通鑑続編 一、便蒙類編 一、春秋諸伝会通序 一、礼部韻 一、続宋資治通鑑 一、尚書蔡氏伝 一、文選 不足 \_一、清家実要 一、古文前後集 一、礼記 不足 一、漢玉扁 一、文林貫旨 不足 × 右 拾 弐 色 前 ノ 箪 笥 入 一、廿一史抜粋抄〈不足/晋唐イロく〉〉七冊 書林黄記 不足 双金一部 不足 壱冊 **壱箪笥** 三冊 五冊 拾五冊 <u>弐</u> 三冊 **弐** 四 冊 壱冊 三冊 弐冊 弐冊 五冊 壱冊 六冊 六(〃)《七》冊 六冊 五冊 拾弐冊 五冊 壱冊 四冊但弎部 (9丁才)

7

一、神令 一、日本紀人皇巻 一、神社考 一、丞相名字 区一、山城名勝志〈全部/図共〉三拾冊 板本 一、庚申記 一、陽復記 \_一、職原抄不審 一、和漢朗詠注書 書本 一、神名帳 一、当家唯受一流口決 一、古今通略 一、大和姫世記 一、弘賢卿御日次 、寛文三御譲位事 、麗気記 区右拾五色壱箪笥 右八色壱箪笥 壱箪笥 壱冊 三拾三冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 弐冊 七弐冊冊 拾弐冊 壱冊 壱冊 六冊 壱箪笥

一、神道大意 一、神代巻 一、無点神代上下 一、王代一覧 一、神皇正統記 一、風土記 宝基本記 一、八的比妻 一、春夜神記 本所へ一、神代聴塵 一、日本紀内国名 一、申楽事 、奉幣参詣次第 、鎮座本紀 、神祇服忌令 神宮方 、藤森縁起 諸社服忌事 拾弐冊 **弐** 壱七六壱弐弐 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱巻 壱冊 壱冊 」(10丁ウ)

-171-

本所へ 壱冊

8

$\bowtie$
右
拾八
色点
它箪笥
入

同	一同	一同	一同	一同	一書本	$\stackrel{\bowtie}{\sim}$	$\stackrel{\smile}{\sim}$
	顕中《	枕 双子	鷹百首	源氏	河海抄	皇朝類	円機活
	註				-	苑	法
	蜜					拾五冊	四拾冊
	三冊	三冊	壱冊	全部	拾冊	同	壱箪笥

一、惟清抄 一、古今秘注 一、板津三部哥書

一、詠歌大概 大小

弐 冊

一、樵談治要

一、竹林名集

和名類聚

」(12丁才)

壱 冊 壱冊 三冊

一、雪玉集 一、和哥会席

× 右拾八色四ノ箪笥入

一、哥林良材 一、文字遣

> 壱冊 壱冊

一、うつほ物語 一、八雲抄

一、連哥新式 一、新朗詠

一、角田川

一、梁塵愚安抄

壱冊 壱冊 壱冊

、女御入内

一、堀河院和歌集

壱冊 壱冊

一、新古今注

壱冊

壱冊

一、同真名序

一、同序注第三

一、古今注 一、花月余情 一、愚見抄

弐冊

一、勅撰名所和哥集

弐 冊

壱冊

一、源氏系図 一、歌林良材

壱冊 壱冊 壱冊

一、歌病之事

一、玉藻前物語 、宗祇千句 、雨中吟

、竹林抄 、紫塵愚抄 、夫木集

一、休(〃)《休》問三 壱冊

壱冊

壱冊

壱冊 壱冊

四 冊 壱冊

弐 冊 壱冊

一、徒然草

一、愚問賢注

一、俊成卿九十賀記

一、詞源要略

壱冊

一、基総三百首

壱冊 壱冊 壱冊

一、源氏引歌

壱冊 壱冊

」(12丁ウ)

壱冊

壱冊

9

-170-

一、日本書記 一、詩人玉屑 一、老のすさミ 一、 歌 仙 一、伊勢物語 一、百首 一、百人一首 一、三躰詩 一、春部 一、愚秘抄 一、胸中抄 一、中華若木 一、未来記 一、朗詠譜 折本 一、延徳第二とし 一、一番冬天象 一、勅撰名所部類 一、連哥初学用捨抄 竹苑抄 右五拾壱色五ノ箪笥入 壱冊 壱四拾七冊冊冊冊 拾壱冊 拾五冊

」 (13ウ)

一、東斎随事 一、註東破詩 一、三場文選一、国語 一、聖賢図賛 一、老子経 一、助語辞 一、東山三益稿 一、同名抄 一、鶏林玉露 一、開元遺事 一、家語 一、簡斎 一、便蒙類編 一、遊仙窟 一、左氏国語文粋 <sup>唐本</sup> 一、中興禅林風月 <sup>書本</sup> 一、作文大躰 一、三脚藁 -一、文選表解 一、和漢名所詩哥 同頭書 古文後集 月渓 右弐拾八色さノ箪笥入 壱 冊 壱冊 壱冊 壱冊 四 冊 五冊 壱冊 壱冊 **弐** 壱冊 弐冊 壱冊 壱冊 壱冊 六冊 壱冊 三冊 壱冊

」 (14丁ウ)

-169- 10

」(14丁才)

一、列仙伝 一、列女伝 一、南唐書 一、大明一統賦 一、古今玉扁 一、簡墨全書 一、少微通鑑 一<sub>本</sub>帝範 一、文公家礼 一、事物紀原 一、近思録 一、周易要事記 一、欧蘇手簡 一、詩学大成 一、礼記疏意 一、三国志 一、詩詞対類 一、古今制作原始 一、新続列女伝 一、大明律 通鑑論 准南子 古今紀要 右拾七色ゑノ箪笥入 四 冊 三冊 八冊 弐冊 三冊 三冊 九冊 拾冊 四 冊 九冊 壱冊 五冊 六冊 八冊 壱冊 壱冊 壱冊 四 冊 拾冊

」(15丁ウ)

一、元文類聚 一、伊洛渕源録 一、孟子抄 小本不足一、春秋左氏伝 一、孟子 不足 一、話園 一、夜鶴庭訓抄一、夜鶴庭訓抄不足 一、法曹至要 一、中庸一、論語序説 一、注定付之事 八卦注 古注論語 年中行事抄 弐 壱 弐 冊 冊 冊 壱冊 弐 冊 四 冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 五冊 壱冊 壱冊 壱冊 **弐** 

」 (16丁ウ)

(16丁才)

一同同 一、孟子点付 一板 本 同 一、職原抄 一、広韻 一、韻鏡 一、楚辞 一、中星図解 一、山谷聞書 一、年中行事 一、氏族俳韻 一、禁腋秘抄 一、孟子 一、孝経述語 一、草書韻会 一、古注論語 一、指微韻鏡序解書本 一、官位不審条々 一、九算十紐図私釈 一、新編居家必用 一、文明年中記録〈不足/本所へ〉 六冊章本 ⋈ 右三拾九色すノ箪笥入 韻会 弐 冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 弐 冊 **弐** 壱冊 五冊 弐冊 弐冊 拾冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊

一、歴代荃宰録 一、山谷聞書 一、新鏤帖式 一、呉文正孝経 一、十八史略 一、法曹至要抄 「一、中庸和語抄 板本 一、壒嚢鈔 一、新編追加上 一、八卦折本 一、改元部類記 、三躰詩 、孝経大義 、古暦便覧 礼記不足 上卿故実 本朝文粋 不足 右弐拾色めノ箪笥入 四 冊 四 冊 壱冊 四 冊 壱冊 壱冊 四 冊 壱冊 壱冊 壱冊 **弐** 六冊 三冊 九冊 壱冊 壱冊 壱冊 」(18丁ウ)

-167-

一、毛詩 不足

紹運 四韻

、四書 全部 石拾五色群書箪笥入

L一、 周易正義 不足一、 詩経 不足

四 冊 **弐**冊

右拾六色雜書箪笥入

一、中庸

孟子

三弐八弐四壱壱弐冊冊冊冊冊冊

」(19丁才)

一、擬山字牖

一、日本紀纂疏

一、千文字

一、書経 道春点

喉吟抄 不足

韻鏡開奩

学庸

壱 三 壱 五 六 壱 冊 冊 冊 冊 冊

記録抜書

五冊

常清浄経

年代略頌

吉野拾遺

難経本義

運気論講義 電気

難経

一、列仙伝 不足

四 壱 八冊 冊 冊

一、毛詩

拾冊

右拾壱色四書ノ箪笥入

五冊

一、玉海抜書 一、本朝儒宗伝 一、竹庵遺稿 一、薩戒記抜書 一、御譲位之事 一、童子問 一、三躰詩 一、論語 古注不足 一、蒙求 兼右卿御筆 一、日本後記撮要 一、 周易註本 〈韓康伯注/不足〉 山谷詩集 凌雲集 名目抄 性理千字文 軍法要武鑑 万姓統譜 不足 三拾八冊 康冨記 拾九冊 壱冊 三冊 壱冊 三冊 壱冊 四 冊 壱箪笥

」(20丁才)

13

一、本神代 一、論語義疏 一、長恨歌 一、夢学全書 一、綱目抜書 一、清門会要 一、清家系図 一、代々譲状写 一、中庸発揮 一、鍛冶録 一、内裏式 一、大臣名 一、婦人要薬 一、古文孝経秘書 一、官位不審問答書本 一、古事記 一、諸社根元記 一、大学定本 一、孟子辞題 一、御元服次第 一、神代三巻抄 一、寛永行幸記 日本紀 全部連屋筆 春秋正義 不足 右弐拾四色《△》 雑書箪笥入 拾七冊 壱冊 **弐** 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 六冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 **弐** 壱巻 壱冊 拾冊 壱箪笥 」(20丁ウ) 」(21丁才) 一、詠哥一躰 一、神書聞書 一、論語義疏 一、神書聞書 一、神書問 一、孫子注 一、和訓抄 一、職原抄 一、師弁 六根 一、事類抜書 一、八雲大事 一、古注大学 一、孝経大義私記 一、類聚国史抜書 一、官庫文書目録 一、哥道秘蔵録 一、筮儀秘式 一、中臣祓抄 幸和 (吉見) 一、寛文五年日記 神名帳并祝戸巻 色紙形 魯斎直解孝経 服忌令 朝鮮国礼 参詣次第口決 一官記大意

> > 」(22丁才)

壱冊

壱 五 壱 冊 冊

-165- 14

四 冊 壱冊

三 壱 壱 壱 壱 冊 冊 冊 冊

」(21丁ウ)

一、文徳実録 一、古注論語 一、三代実録 一、孟子注抄 不足 一、続日本記抜書 年代記 日本後記 禁秘抄 字彙 広韻 神光経 拾芥抄 令義解 姓氏録 和名集 周易 不足 名臣言行録 職原抄 不足 聚文略韻 続日本紀 延喜式 全部 弐拾壱冊 一箪笥 右五拾四色〇御手マハリ箪笥入 此外御反古色々入 不足 三冊 四 冊 三冊 壱冊 七冊 七冊 壱冊 **弐** 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 壱冊 六冊 壱冊 七冊 壱冊 四(")《六》冊」(23丁才) 」(22丁ウ)

一、山谷不足 一、性理字義 一、孟子 一、朱文公小学大成 「一、左伝直解 <sup>全部</sup> 拾五冊 一 <del>\_\_</del>板 一、喉吟抄 不足 一、尚書 不足 一、三重韻対類 ⋈ 右弐拾八色□箪笥入 吾道集 四書註者考 誤丁橋 明心宝鑑 孟子序説抄 論語抄 不足 和玉(篇) 礼記不足 和漢名数 古暦便覧 公事根源 一行阿闍利出行記 畳辞訓解 壱冊 壱冊 **弐** 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 **弐**冊 五冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 一箪笥 」(24丁才) (23丁ウ)

拾五冊

15 -164-

一、書法 一、聯句略韵 一、竹余樗材 一、懐金 一、一塵 一、補庵絶句 一、学庸論語 一、畳字集 一、兵事要法 一、捨遺和哥集 一、張子房決撰 一、旅亭分韻 不足 一、詞林采葉抄 不足 一、唐賢錦繍 不足 一、論語聞書 不足 一、黄山谷抄 不足 一、四書開心切解 、三重韻 、残儀兵的目録 、淳公兔 祭二星文 周易大全 不足 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 四 冊 壱冊 」(25丁才) 」(24丁ウ)

一、撃蒙要訣 一、朱文公年譜 一、原人論抄 一、論語句解 一、本朝遯史 一、群書捨唾 一、多識論 一、蠡海集 一、経筵講義 一、孔子通紀 一、五倫書 一、四書講述 一、入学図説 一、顏氏家訓 一、字義詳講 「一、小学 四<sup>版本</sup> 四<sup>版本</sup> L一、雑本九(〃)《十》冊 一、朱子訓蒙詩 一、万物造化論 麗花集 白虎通 四書章図 君臣図像 右弐拾色あノ箪笥入 弐 冊 壱冊 **弐**冊 四 冊 三冊 壱冊 四 冊 **弐**冊 **弐**冊 **弐**冊 七冊 壱冊 壱冊 弐 冊 壱冊 **弐**冊 **弐**冊 弐 冊 壱冊 壱冊 三冊 三冊 」(26丁才) 」(25丁ウ)

-163-

壱 壱冊 冊

一、左伝 不足 一、性理摘題 不足 一、礼記 不足 一、東莱博議 一、孔子家語 一、毛詩不足 一、九経直音 一、困智記 一、同人物考 一、書経講義 一、四書明解 一、朱子成書 一、四書集註 一、尚書纂図 ※石拾七色と ノ箪笥入 ※右五色む ノ箪笥入 弐 弐 九 壱 六 弐 三 四冊 冊 冊 冊 冊 冊 拾 拾 拾 六 冊 弐 弐 七 六冊冊冊冊 弐冊 壱冊 弐 六冊 冊 」(27丁才)

□、 甘壱代集 弐拾壱冊 □、源氏物語 五拾四冊 一、性理大全 五拾壱冊 一、四書蒙引 弐拾冊 右拾色ちノ箪笥入 「一、書経旁通 一、工程全書 不足 一、困知記 一、孟子抄 不足 一、尚理論 一、 一、 一、 大学翼 一、蒙求 弐部 一、原人論 一、【女郎花 三冊 壱箪笥 坂本 【伊勢物語 五冊 哥書人 一、祥刑要覧 一、真草千字文 一、公羊註疏 不足 一、艶簡集 一、啓蒙補要解 十三経註疏 右拾壱色ぬノ箪笥入 壱冊 七 壱 拾冊 売冊 五冊 壱冊 壱 壱冊 冊 五 弐冊 冊 拾売冊 六冊 壱冊 同 同 同 同

17

弐 冊

「一、詩経註疏 □ 、四書大全 一、字彙 〇二、春秋胡伝集解 拾六冊 X1、大学衍義 ⊠一、文選六臣集 三拾一冊 区一、通鑑〈前編十冊/続編廿七冊〉合三拾七冊 二、象山集要 一、五経集註 一、後漢書 六拾壱冊 一、礼記正義 一、四書章図 一、穀梁伝 一、左伝正義 一、居蒙録 一、理学類編 、魯斎心法 、伝習録 、近思録 山堂肆考 四書大全 小補韻会 同〈正編自一/至三十八〉合三拾八冊〈内二冊不足〉二三 同〈正編自卅九/至六十九〉合三拾一冊 右九色 右弐色みノ箪笥入 **弐拾冊** 五拾冊 四拾三冊 同 四拾弐冊 弐拾壱冊 弐拾二冊 壱箪笥 不足 壱箪笥 十四冊 拾三冊 拾四冊 弐 冊 六冊 拾八冊 **弐** 四 冊 壱冊 <u>弐</u>冊 四 册 廿冊 同 同 同 同 同 同 箪笥 」(29丁才) 同 同」(28丁ウ) 同

> ⊠一、大明会典 △一、四書存疑 一、同浅説 一、史記 二、爾雅 一、三国志 一、漢書 一、後漢書 一、論語 一、周礼 一、孟子 区右拾三経十弐色 、公羊伝 、尚義正義 、孝経註疏 右 六拾冊 一冊不足 な一箪笥 一箪笥 壱箪笥 同 拾三冊 四 冊 三冊 八 冊 拾六冊 拾冊 五冊 拾冊 壱冊

」 (29丁ウ)

一、晋書

右四色合九拾冊

壱箪笥

一、南史

一、梁書

右四色合百弐拾冊

同

一、宋史

一、魏書

北陳書

-161-

一、 同 抄 一、十九史略 一、周易抄 一、名臣奏議 一、延喜式 一、続塵芥 一、貞観政要 一、易抄 一、老子経 [一、周易大明期経 <sup>書本</sup> 一、文章軌範評林 一、丙寅行記書本 一、毛詩抄 一、書経抄 一、隨書 一、五代史 一、北斉書 一、唐書 一、周書 一、和名類聚 一、五代帝王物語 一、続文章軌範 不足 右三色合百三拾冊 右六色合百拾六冊 右拾参色りノ箪笥入 壱 弐冊 冊 三冊 壱冊 壱 冊 壱 拾冊冊 同 三冊 壱冊 拾三冊 八冊 壱冊 壱冊 **弐** 同 拾壱冊 」(30丁ウ) 」(30丁才) 一、禁秘御抄 一、官職秘抄 一、装束記 一、百寮訓要抄 一、桃花蘂葉 一、簾中抄 一、装束記 一、公武大躰記 一、中堂供養記 水鏡 弐部 一、公武相交記 一、鳥羽天皇御伝 一、新任弁官抄 一、神皇正統記 一、遺鍼鍼 一、読詩次第 一、水かゝみ 一、江家次第 色々 一、ますかゝみ 、聚分韻 、藤孝紹巴両吟 姓氏録 (〃〃〃) 御代帝王物記 上宮大子式文 四 冊 <u>弐</u>冊 壱冊 壱冊 壱冊 **弐**冊 壱冊 壱冊 壱通 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 <u>二</u> 冊 弐拾八 (〃)《七》冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 <u>一</u> 冊 」(31丁ウ)

19 -160-

一、欧蘇手簡 一、事林広記 一、月中記 一、飾抄 一、聚分韻 一、式目類 一、大家文翰 一、新編追加 一、新儀式 一、北山抄 一、三躰詩抄 一、軍林宝鑑 一、公武大躰略儀 一、遺戒年中行事 朗詠 道徳経 六家集 八境図 中庸集略論孟或問 策学衍義 楊升庵辞品 方輿要覧 禁中懺法講 十七ケ条憲法 右三拾九色二ノ箪笥入 四 冊 壱冊 壱冊 三冊 弐冊 拾四冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 弐冊 四 冊 壱冊 壱冊 拾冊 壱冊 壱冊 壱冊 <u>弐</u> 壱冊 六冊 拾(〃)《七》冊 」(32丁才)

無二集 一、尚書不足 一、中星図解 一、本中庸 一、原人論 一、通鑑抜書 一、一期大要秘蜜集 一、七難経 一、羽林秘抄 L一、杜律集解 <sup>不足</sup> 一、前漢書評林 一、三躰詩抄 一、諸法会表白集 一、日本書籍目録 一、真儒義理弁 × 右拾壱色ゆノ箪笥入 周礼正義 不足 応永十八年記 王沢不竭鈔 洛陽名筆 魚魯愚抄 明曆詩集 玉造小町 四 冊 七冊 壱 売 冊 拾五冊 弐 冊 壱冊 壱冊 壱冊 **弐** 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 」(32丁ウ) 」(33丁才)

-159- 20

一、見聞雑事 一、小命期経 一問 二、北硼詩集 不足 一、通鑑節要 不足板本 一、古文後集 一、職原抄 不足 一、決訟指南 不足 一、尚書正義 不足 一、白氏五妃曲 一、名臣言行録 不足 一、家語 不足 一、尚書大文 不足 一、三世教卜例 一、古注論語 不足 一、後撰和哥集 一、杜律小本 不足 一、杜律雑々 一、三才図会抜粋 一、改元部類 ≥ 右三拾八色京ノ箪笥入 一、導引慕要 一、文選 不足 一、養真堂雜例 同不足 家伝書籍目録 右八色壱クトリ 不足 壱冊 壱 冊 壱冊 壱冊 壱冊 七冊 壱冊 」(34丁才) 」(33丁ウ)

一、恵中集 一、書学秘抄 一、鎧甲着用 一、円(太)暦 一、文禄二八講記 一、三条中山口伝 一、相国寺供養記 一、多々良問答 一、改名款状旧案 大臣名 書札礼 麒麟抄 見聞集 四節八座抄 系図 御記 後光厳院 春除目篇目抄 四声大秘事 大槐秘抄 御八講記 宣賢卿御筆字書 女官禁秘抄 六甲軒郎御卜 等持院八講仮名記 日野一流系図折本 **弐**冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 **弐**冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 三冊 壱冊 壱冊 」(35丁才) 」(34丁ウ)

21 -158-

一、補任歴名 一、諸社行幸記 一、朔旦冬至部類記世露寺親長卿筆 一、関白宣下別記 一、慶長六縣召除目 一、尚経公御記 一、天正行幸記 一、正応行幸記 一、後二条関白記 一、泉涌寺論旨写 一、天文十八四所労帳 同折本 頼業記 永享行幸記 叙位除目 寛文九朔旦冬至私記 御八講次第 侍中備急抄 行類愚抄 不足 女叙位次第 叙位略次第 叙任次第 縣召除目 東福門院懺法講次第 永正伊勢一社奉幣次第 大樹御拝賀記 右三拾六色雑記入 壱箱 壱冊 壱冊 壱冊 <u>弐</u>冊 壱冊 壱箱 <u>弐</u> 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 **弐**冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 壱冊 」(36丁才) 」(35丁ウ)

一、少納言要 一書本 一、儒書類巻物 一、定家家隆五十番哥合 壱冊 一、御記録 一、新旧詩巻 一、少納言補任 一、古キ書物品々 一、御読書記其外色々 、左伝巻物 、毛詩巻物 、当家叙位書物 、年中行事記録 四書 毛詩 不足 古キ書付ノ巻物色々《箱ニ通鑑綱目トアリ》 壱箱 歌書 兼好家集 雅章卿吉野紀行 事文類聚 五拾三冊 一箪笥 職原抄 五冊 右五色 左伝 不足 礼記小本 右八色巻物類ノ箱ニ入 此外二諸次第書付色々有 右拾九色諸次第ノ箱入 壱箱 進 壱冊 壱冊 壱冊 同 壱冊 壱冊 九冊 壱冊 同 同 同 三冊 三冊 弐拾冊 同 同 壱クヽリ 壱箪笥 拾壱冊 五冊 」(37丁才) 」(36丁ウ)

-157- 22

又巻物不知数大箱二入

一、名法要集

壱 壱冊 冊

壱冊

右七色御文匣二入

一、八陣図説

壱 冊 一、仮名文字遣

\_一、孝経 「一、当家伝

壱冊

」(37丁ウ)

一、神剣奉天段一、神祇服忌令

壱冊

壱 五 壱 冊 冊

_													] 一和	! — 明後 - 1	<del>一</del> 大学									
写見材フ啡	安井村水帳	御代々御朱印	右	清家系図	舎人尊像	後陽成院国賢賜御奥書後奈良院宣賢賜御奥書	御代々譲状	宣賢卿詠草 勅点	渡唐天神 筆不知	朱子遺像	宣賢卿像	東福門院御筆	後水尾院宸翰	同宸翰	一、同宸翰大学之講説	一、後陽成院宸翰	同九哲像 探幽筆	筮儀尊像	一、中臣祓抄	清原良枝論語	御代々口宣案	主水司口宣并書状	仲隆御遺式	御侍読孝経
1	吉冊	五通		壱巻	壱幅	三通	三巻	壱幅	壱幅	壱幅	壱幅	壱幅	壱幅	壱幅	壱 福 <sup>幅</sup>	壱幅	壱幅	壱幅	壱巻	弐 冊	数通	九通	壱巻	壱巻
											」 (38丁ウ)													」(38丁才)

23

甲ノ箪笥

右壱箱

一、御即位・御譲位之箱御書付

一箱ニ入

一、御記録ノ類其外御書付等、

国印

哥共有之、封アリ

一、御手本類・御哥之類・御聞書、

其外御入用之反故有之

一、寛文四年六月十六日ト書付

有之箱内二、御詠草其外

一、代々口宣案ト在之箱内ニ

御入用之反故共有之、封アリ

右九色御文匣二入

字保十一年 (一七二六) 午七月十六日 」(裏表紙) 字保十一年 (一七二六) 午七月十六日 」(4 0 丁白紅 ) (4 3 丁白紅 ) (4 4 T白紅 ) (4 4 T

※ PDF 版作成にあたり、冊子版に補訂を加えた(2022.7)

天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展 —知の体系の構造伝来の解明

2020(令和2) ~ 2021(令和3)年度研究成果報告書 (最終年度報告)

> 科学研究費補助金 (基盤研究 (S)) [課題番号 17H06117]

#### 科研費

研究代表者 田島 公(東京大学史料編纂所教授) 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学史料編纂所

2022 (令和4) 年3月31日 第1刷 発行

-155- 24